

災害ボランティアセンタースタッフ体験研修会が開催されました



▲被災者から要望があった内容にそって、ボランティアを振り分けています

3月16日、活性化センターにおいて災害ボランティアセンタースタッフ体験研修会が開催されました。民生委員児童委員、赤十字奉仕団員などが参加のもと、災害ボランティアセンターの機能と役割を学び、運営体験を行いました。ウェザーハート災害福祉事務所千川原公彦代表は、「災害ボランティアセンターは、地域の皆様の理解が不可欠です。また、全国から集まるボランティアが効率よく効果的に活動するために必要です。」と話されていました。

箱罾をご寄贈いただきました



▲イノシシの駆除を進め農作物被害防止に役立てます

3月18日、JAみやぎ仙南農業協同組合様より箱罾一基をご寄贈いただきました。イノシシ用の箱罾で、高さと幅が1m、奥行きは2mあり、中に餌を置きイノシシが入ると扉が閉まる仕組みです。増加するイノシシによる農作物被害を防ぐため、ご寄贈いただいた箱罾を町猟友会と活用を図りながら駆除を進めていきます。温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

「ひな人形とつるし飾り展 ORADAZUの雛まつり」を開催しています



▲風情あるひな人形と色鮮やかなつるし雛が展示されています

3月18日から4月18日まで、水と歴史の館を会場に「ひな人形とつるし飾り展 ORADAZUの雛まつり」が開催されています。今年で2年目を迎える特別展は、「みんなで作り上げよう」という思いから「おらだず」の雛まつりと題し、町民や町内の小・中学生が手作りした可愛らしいひな人形やつるし飾りなどを展示しています。町民は子どもから大人までみんなで楽しめますので、ぜひお越しください。(期間中、町民は無料で入館できます)

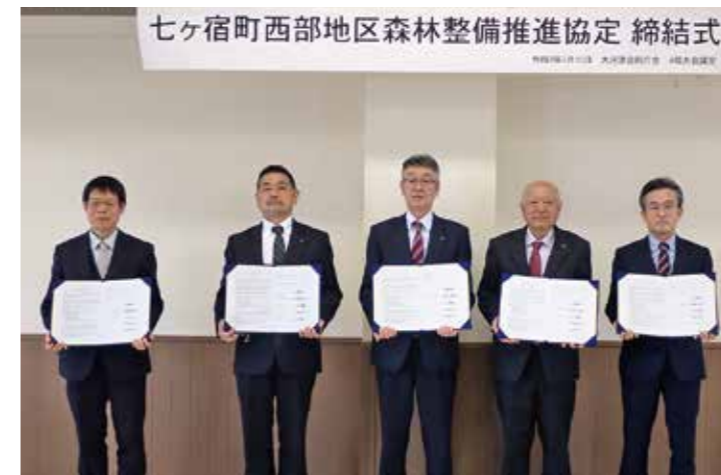
関保育所ひなまつり会を行いました



▲可愛いひな飾りができました

3月3日、関保育所でひなまつり会が行われました。ホールには、子ども達が色画用紙に色を塗ったり、折り紙で作ったひな飾りと一緒にひな人形が飾られました。子ども達は、「うれしいひなまつり」を元気よく歌ったあと、ひなまつりに関する風習や食べ物、おひな様やおだり様などのひな人形の説明を真剣に聞き入り、「お家にもひな人形が飾ってある。」「おひな様可愛いね。」と嬉しそうに話していました。

七ヶ宿町西部地区森林整備推進協定を締結しました



▲作業の効率化と収益の向上を図ります

3月10日、町と仙台森林管理署、森林整備センター東北北海道整備局、古河林業(株)七ヶ宿林業所、七ヶ宿町森林組合との間で「七ヶ宿町西部地区森林整備推進協定」を締結しました。締結により、対象の町有林、国有林、整備局所管林、社有林、私有林の計13,114.95haを一体的に整備し、作業の効率化と森林による収益の向上を図ることができます。小関町長は「関係機関と連携を図り、森林の多面的機能の発揮と林業の成長産業化を促進したい。」と述べました。

七ヶ宿町赤十字奉仕団団結式が開催されました



▲すべての人のしあわせをねがい活動します

3月16日、活性化センターにおいて七ヶ宿町赤十字奉仕団団結式が開催されました。赤十字奉仕団とは、赤十字の使命とする人道的な活動を身近な社会の中で実践しようとする人々で結成され、高齢者支援活動や災害救護・防災活動などを行うボランティアグループです。高橋秀一委員長は「日本各地で毎年のように災害が発生している。いつ災害が起きても、避難所の運営等をサポートできるようにしたい。」と話されました。